

講義概要 (2011年度 開講予定科目)

(専門教育科目) T (テキスト科目)、S (スクーリング科目)、TS (テキスト・スクーリング科目)

授業科目の名称	講義等の内容	単位数	授業形態
メディカルビュー ティー特論	現代社会においてインターネットの普及により正しい情報も間違った情報もありとあらゆる情報が氾濫しています。スキンケアに対する情報もしかりです。どんな情報が溢れていても解剖生理は昔からかわることはありません。皮膚科の専門医による著書をもとに正しい皮膚のメカニズムを知り、正しいスキンケアの知識を学びます。	2	T
メディカル・エステ ティック演習	メディカル・エステティック演習では、簡単なフェイシャルマッサージから始まり、アンチエイジングに働きかけるパック、手技を学んでいきます。健康な方ばかりではなく、病院での入院患者の方、また老健施設での高齢者の方々にも使える技術を学びます。	1	S
メディカル・ハンド フットケア演習	筋肉、骨の構造を熟知した上でボディマッサージを学んでいく。解剖生理学を理解した上でのリンパドレナージュ等の必要性などメディカルエステを活かす技術も学ぶ。	1	S
メディカル・ネイル 演習	マニキュアの語源はラテン語の「マヌス・キュア」＝手全体のお手入れを意味し、ただ単に美容技術としてだけではなく、手や爪の健康を追求するものである。老化予防や爪のトラブルを予防し、高齢者がいつまでも若々しく美しくありたいという望みを支えるためにも、ネイルケアやカラーリングの正しい専門知識と技術を学ぶことを目的とする。	1	S
メディカル・メイク アップ特論	介護・医療現場においても、メイクアップの持つセラピー効果が注目されている。美を追求することは、同時に癒しにもつながり、さらに健康で輝いた生活を送るというQOLの向上に結びつくものである。顔の成り立ち、顔の分析、色彩学、メイクアップやアイテムの基礎知識をはじめ、JMA日本メイクアップ技術検定協会4級資格取得が可能となる知識を学ぶ。	2	T
メディカル・メイク アップ演習	特論で学んだ知識をもとに、ベーシックな技術、感性・センス、人間性を養い、プロとしての土台を築くことを目的とする。スキンケア～ベースメイクの技術を通じて、健康的で美しい肌を創り出し、トラブルのカバー方法、施術時の心配りや思いやりの姿勢をも身につける。JMA日本メイクアップ技術検定協会3級資格取得が可能となる技術を学ぶ。	2	S
エンゼルメイク演習	高齢化が進み多くの方が医療機関等の施設で人生の最期を迎えている今、医療や介護の現場で看取りに携わる機会が増えている。エンゼルメイクは、故人の尊厳を守るために行う意義深い処置といえる。単に死化粧を行うだけでなく残された家族の声に耳を傾け、遺族ケアにつながる行為となるべきである。 専門知識・技術および専用の道具に関する知識はもちろんのことながら、家族や近親者の納得いくメイクを提供し、エンゼルメイクをとおして深い悲しみを癒す方法を考察する。	1	S

授業科目の名称	講義等の内容	単位数	授業形態
アロマセラピー特論	アロマセラピーは癒し効果、美容効果にとどまらず、代替医療としても期待されている。自然植物のパワーを知り、アロマセラピーが人間の体・肌・心に及ぼす影響や、精油の効果、安全性・危険性などを学び、介護や医療の場に取り入れる方法についても考察する。アロマセラピー演習の知識修得科目となる。	1	T
アロマセラピー演習	リラクゼーションや自己免疫力強化、自然治癒力向上を目的に、アロマセラピーを普段の生活や介護・医療現場で取り入れるための方法を修得する。実際に精油の香りを体感しながら、トリートメントの基礎技術やクラフト作成方法についても、実践的に学ぶことを目的とする。	1	S
緩和ケア特論	この講座では、なぜ今、ホスピス・緩和ケアが求められるようになってきたのか、ホスピス・緩和ケアはどんな理念の基でどんなケアが行われるのかを手掛りに、先に述べた「がんを抱えながら死ぬまで生きる」ことから発展させて、がんのみに捉われず「いのちに向き合って生きる」ことについて考えていきたいと思ひます。まずは、他人事ではなく、ご自分のこととして「いのち」に向き合う姿勢を持っていただきたいこと、その上で、「いのち」に向き合う他者を援助するにあたって、ご自分にできることは何かを考えていただきたいと思ひます。	2	T
口腔ケア演習	口腔ケアは口腔清掃だけでなく、誤嚥性肺炎及び感染症予防、口腔機能や全身の健康維持・回復、日常生活動作・生活の質の向上を目的に行われる。高齢者に対する口腔ケアは、介護の現場において「笑顔がでるようになった」、「食欲がでて意欲的に行動できるようになった」、「気分が安定してきた」などの効果を期待できるケアである。高齢者の健康維持・回復、介護予防として、また介護現場で本来の自分を取り戻すための重要なケアとして学ぶ。	1	S
代替医療 (オーリング・ ホメオパシー)	<p>身体には自分にとっての良い物や悪い物を選別することのできる特殊な能力があると言われている。「生体そのものが極めて敏感なセンサーで、毒物を近づけたり、体に合わない薬剤を手を持たせたりすると、筋の緊張は低下し、逆に有効な薬剤では緊張が良好に保たれる」という原理に基づき、指の筋トーンの変化を指標として身体の異常を発見したり、適合する薬剤を発見したりする方法（オーリングテスト）の理論を学習する。自分にとっていい食べ物や飲み物のチェック方法、食べ物と飲み物とのキャンセル現象、電磁波や携帯電話の体に及ぼす影響、その人に合った化粧品の判別方法、体にいいアロマの選別方法等について講義と実習を通して学ぶ。（スクーリング部分）</p> <p>ホメオパシーは物質を希釈振盪し砂糖球にしみこませたレメディーを用いて必要最小限の刺激でもって自然治癒力を活性化し自分自身の力で心身を回復させていく自然療法です。この講座ではホメオパシーの歴史的成り立ちから、病気の捉え方、ホメオパシーを実際に使うに当たっての取り扱い方法や注意点など、ホメオパシーを理解し活用する上での必要な基礎知識を学んでいきます。更には一般の方々が購入してセルフケアとして使える基礎36レメディーキットに入っているレメディーを題材にしてレメディーの個々の特徴を書いた薬効書であるマテリアメディカと症状別の検索を可能にした事典であるレパートリーを用いた具体的な選び方までを学びます。（テキスト部分）</p>	3	TS

授業科目の名称	講義等の内容	単位数	授業形態
東洋医学特論	<p>現代社会では、複雑な原因により発生する自己免疫疾患、慢性疾患や生活習慣病が増加している。これらの疾患は、生活習慣、価値観や人間関係など、多様、多彩な複数のストレスが誘引となって発病することが多い。</p> <p>このような状態を緩和するため、こころのケアが求められている。こころをケアし、生活の質(QOL)向上するためには、既存の価値観だけではなく、新たな「こころと身体の関係」に対する認識が必要となる。</p> <p>東洋医学がこころと身体を捉える場合には“心身一如”という言葉に示されるように、全体観がその根底に流れている。「物事が単独で存在することはなく、全ては関連性を持ちながら連続的に生じている」と捉える東洋医学の心身観では、こころと身体の間を「異なるが故に、互いに存在を意味づけ合うもの」として捉えている。</p> <p>この講座では、東洋医学をベースとした心身観を学ぶことにより、健康、老化、疾病、障がいなどに対する意識の持ち方を再考し、多角的に捉える視点を育成することを目的としている。</p>	2	TS
スピリチュアリズム	<p>本講座は、幸(高)齢者の終末期の看取りを通して得られる、幸(高)齢者の方々との魂の交流と、生命の輝きについて説明させていただきます。</p> <p>人間の終末期において、幸(高)齢者の方と私達には言葉すら要りません。ただお互いに感謝を思うことのみが、なすべきこととなります。幸(高)齢者の方々の魂は天と地(肉体)を行き来し、私達の魂すら導いて下さいます。人間の終末期ほど、尊い時はありません。その時に添わせて戴く事こそ、私達の魂を清め高めます。マザーテレサのお言葉のように、一人ひとりの魂と接する機会が与えられているその時なのです。</p> <p>使用テキストである『ありがとう』は祈りの言葉』は、私が2002年に設立した看取りの家「なごみの里」の理念と、幸(高)齢者様とのエピソードをまとめたものです。私は今も幸(高)齢者様が生命を燃やし、最期を看取ったものに対して渡して下さるエネルギー「命のバトン」を受け継ぐために、家族の方々とともになごみの里で幸(高)齢者様に風のように寄り添っています。終末期にある幸(高)齢者の方こそ師であり、おそばにいる私達は学びの者です。美しい死の中にこそ真の生があります。</p> <p>皆様にも、この講義を通して、生命のラストステージである看取りの現場で学んだ死の美しさと尊さ、またさらに美しい死から真の生を学んでいただきたいと思います。</p>	3	TS